

I 令和4年(2022年)度 事業報告

1. 事業活動の概要

本財団は、優秀な人材の育成を図り、学問の研究等を奨励し、社会の発展と福祉に寄与することを目的として、全国の証券会社等関係機関からのご寄附により、1973年(昭和48)7月1日に文部大臣の許可を受けて設立され、2011年9月16日より公益財団法人に移行し、現在に至っています。

今年度は、奨学生選考面接を3年ぶりに対面にて実施しました。また、各種式典については、新型コロナ・ウイルスへの十分な感染防止対策を行ったうえで、数年ぶりに対面にて開催しました。加えて、12月には、3年ぶりに第2回緊急奨学金を給与しました。

なお、本年度における各事業の活動状況は、次の通りです。

(1) 奨学事業

将来社会の各分野において指導的役割を担う人材を育成するとの趣旨により、大学生・大学院生への奨学事業を行っており、設立以来の奨学生修了者は、2023年3月末日現在3,771名になっています。

今年度は、新規に62名を採用し、学年進行者106名と合わせて168名に対し、通常の奨学金95,300千円を給与しました。このほかに、今般の原油価格・物価高騰による奨学生の窮状に鑑み、その支援のための緊急奨学金を11月末日現在の在籍者163名対し一律30千円、総額4,890千円を給与しました。

コロナ感染状況を見定めつつも、7月には、3年ぶりに奨学金授与式を学士会館にて、3月には4年ぶりに奨学生修了式をKABUTO ONEにて、対面により開催しました。なお、奨学生懇談会及び大学毎の集いは、昨年度に引き続き開催を見送りました。また、9月及び2月に奨学生推薦大学連絡会をオンラインにより開催しました。

(2) 研究調査助成事業

高い水準の研究調査を盛んにするとの趣旨により、社会科学の各分野の研究調査を対象に助成事業を行っています。

今年度、研究調査助成は8名に対し8,390千円を給付し、研究出版助成は5名に対し4,930千円を給付しました。また、12月に研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式を開催しました。

(3) 証券奨学同友会支援事業

本事業は、奨学生修了者で組織する証券奨学同友会（以下「同友会」という）が行う活動を支援するものです。

今年度の総会と懇親会は開催を見送りました。11月に同友会関東地区幹事の編集により発刊された同友会報第48号に係る編集業務及び同友会員はじめ関係者への配付業務を支援しました。

2. 事業活動の状況

(1) 奨学事業

新規採用者62名及び学年進行者106名の合計168名に対し、通常の奨学金95,300千円を給与しました。このほか、今般の原油価格・物価高騰による奨学生の窮状に鑑み、その支援のため緊急奨学金を本年11月末の在籍者163名対し一律30千円、総額4,890千円を給与しました。その状況は以下の表1～表4のとおりです。

① 奨学生の新規採用状況

新規採用については、指定大学30校に対し4月1日から4月22日まで募集を行ったところ、30大学から84名の候補者の推薦がありました。候補者に対して、5月13日から6月1日の間、奨学生選考委員による面接を東京及び大阪の会場で実施し、委員の評価を行いました。その後、6月27日の奨学生選考委員会による選考の結果を受け、書面理事会で6月30日に本年度の新規採用者を機関決定しました。

(表1) 令和4年(2022年)度の奨学生数及び奨学金給与額

(単位：名、千円)

区 分	博士課程	修士課程	学部	計
学年進行者	7	29	70	106
新規採用者	3	21	38	62
計	10	50	108	168
奨学金給与額	6,030	27,505	61,765	95,300
緊急奨学金給与額	300	1,350	3,240	4,890
計	6,330	28,855	65,005	100,190

(注1) 給与月額は、2020年度の採用者から、一律45,000円(55,000円)です。2019年以前の奨学生は、博士課程45,000円(55,000円)、修士課程40,000円(50,000円)、学部35,000円(45,000円)です。博士課程は3年間、修士課程は2年間、学部は2年次から3年間で給与期間としています。括弧書きは自宅外通学者額。

(注2) 今年度中、博士課程2名、修士課程6名、学部8名の計16名が休学等により給与を休止等しています。

(表2) 令和4年(2022年)度奨学生数(大学別) (単位:名)

学 種 大 学	新規採用者				学年進行者				2022年度奨学生合計			
	大学院学生		大学生	計	大学院学生		大学生	計	大学院学生		大学生	計
	博士	修士			博士	修士			博士	修士		
北海道大学		1	2	3		1	2	3		2	4	6
東北大学			2	2		1	3	4		1	5	6
新潟大学		1	1	2	1	1	2	4	1	2	3	6
筑波大学	1	1		2		1	2	3	1	2	2	5
お茶の水女子大学		1		1		1	1	2		2	1	3
東京大学			1	1		2	2	4		2	3	5
東京工業大学		1	1	2		2	1	3		3	2	5
一橋大学	2		1	3		2	2	4	2	2	3	7
東京都立大学		1		1		1	3	4		2	3	5
慶應義塾大学		1	1	2			3	3		1	4	5
上智大学		1	1	2		1	3	4		2	4	6
中央大学			3	3			3	3			6	6
日本大学			2	2		1	1	2		1	3	4
法政大学			3	3			2	2			5	5
明治大学		1	2	3			3	3		1	5	6
立教大学			3	3			5	5			8	8
早稲田大学		1	1	2	2	1	2	5	2	2	3	7
横浜国立大学		2	1	3	1	1		2	1	3	1	5
名古屋大学		2	1	3	1(1)		2	3(1)	1(1)	2	3	6(1)
名古屋市立大学			2	2			4	4			6	6
京都大学		2	1	3		2	2	4		4	3	7
同志社大学			3	3			6	6			9	9
立命館大学		1	1	2		1	3	4		2	4	6
大阪大学			1	1	1(1)		1	2(1)	1(1)		2	3(1)
大阪公立大学 (大阪市立大学)			1	1		2		2		2	1	3
関西大学			1	1			5	5			6	6
神戸大学		1		1	1	2	2	5	1	3	2	6
関西学院大学						1	2	3		1	2	3
広島大学		1	1	2		2	3	5		3	4	7
九州大学		2	1	3		3		3		5	1	6
計(30大学)	3	21	38	62	7(2)	29	70	106(2)	10(2)	50	108	168(2)

(注) 括弧内は、留学生数(内数)。

(表3) 累計の採用奨学生数(大学別)

(単位:名)

大学名	大学院生		大学生	計
	博士	修士		
北海道大学	34	44	106	184
東北大学	25	36	112	173
新潟大学	6	33	108	147
筑波大学	4	8	5	17
お茶の水女子大学	0	6	9	15
東京大学	28	38	110	176
東京工業大学	31	39	99	169
一橋大学	34	36	98	168
首都大学東京	30	36	107	173
慶應義塾大学	31	38	115	184
上智大学	30	36	115	181
中央大学	3	23	91	117
日本大学	1	5	14	20
法政大学	0	19	81	100
明治大学	0	28	81	109
立教大学	3	21	88	112
早稲田大学	32	39	105	176
横浜国立大学	3	7	9	19
名古屋大学	32	25	108	165
名古屋市立大学	0	1	43	44
京都大学	28	52	105	185
同志社大学	0	19	86	105
立命館大学	0	24	71	95
大阪大学	25	39	94	158
大阪市立大学	32	40	101	173
関西大学	0	9	78	87
神戸大学	33	36	95	164
関西学院大学	25	35	109	169
広島大学	34	38	99	171
九州大学	27	39	98	164
計	531	849	2,540	3,920

(注) 旧留学生制度による留学生を除く。

② 奨学生修了状況

今年度は、奨学生 62 名（博士課程 4 名、修士課程 26 名、学部 32 名。早期卒業等に伴う修了者を含む。）が修了しました。その状況は、表 4 及び表 5 のとおりです。

(表 4) 令和 4 年(2022 年)度奨学生修了者の就職・進学状況

(単位：名)

区 分	大学院生		大学生	合計	備 考	
	博士課程	修士課程				
(1)就 職	1	14	24	39		
内 訳	一般企業 その他	0	13	15	28	{ 株式会社 25 名 その他 3 名
	大学等 研究機関	1	0	0	1	大 学 1 名
	公 務 員	0	1	9	10	{ 国家公務員 4 名 地方公務員 6 名
(2)進 学	0	4	7	11	{ 同大学大学院 9 名 他大学大学院 2 名	
(3)在 学	2	0	0	2	{ 辞退 1 名 修了 1 名	
(4)その他	1	8	1	10	{ 進路未定 3 名 受験 6 名 辞退 1 名	
計	4	26	32	62		

(注)「(3)在学」の、辞退は、日本学術振興会(DC2)に採用。

(表5) 年度別の奨学生修了者数

(単位：名)

学 種 修了年度	大学院生		大学生	合 計
	博士課程	修士課程		
1976～2017	482	723	2,269	3,474
2018	8	20	37	65
2019	4	17	33	54
2020	5	21	45	71
2021	9	8	28	45
2022	4	26	32	62
計	512	815	2,444	3,771

(注) 辞退者を含み、2013年度までの留学生(旧留学生制度)を除く。

③ 奨学金授与式

2022年度(第49回)奨学金授与式は、7月15日(金)午後3時より、「学士会館」(千代田区神田)において、今年度採用の奨学生(62名)、推薦大学の副学長や学生部長、本財団役員、評議員、奨学生選考委員、参与、証券奨学同友会幹事など総勢96名で開催しました。

コロナ禍において十分に感染対策を行いつつ、3年ぶりの対面による開催となりました。引き続き開催した懇親会では、奨学生選考委員会委員の廣田元孝様(広田証券株式会社取締役会長)から乾杯のご発声をいただきました。その後、和気藹々とした交流が持たれました。

○ 式次第

開式	一、 挨拶	理事長	稲野和利
	一、 挨拶	奨学生選考委員長	藤原誠
	一、	奨学生証書授与	
	一、 祝辞	中央大学 副学長	鳥居伸好
	一、 謝辞	奨学生代表 一橋大学大学院博士課程	木口憲明
閉式			(敬称略)

④ 奨学生修了式

2022年度(第48回)奨学生修了式は、3月10日(金)午後3時より「KABUTO ONE」(中央区日本橋兜町)において、今年度修了の奨学生(62名修了)、推薦大学の副学長や学生部長、本財団役員、評議員、奨学生選考委員、資産運用委員、参与、証券奨学同友会幹事など総勢97名で開催しました。

コロナ禍において十分に感染対策を行いつつ、4年ぶりの対面による開催となりました。引き続き開催した懇親会では、奨学生選考委員会副委員長の小林康夫先生(東京大学名誉教授)から乾杯のご発声をいただきました。その後、和気藹々とした交流が持たれました。

○ 式次第

開式	一、 挨拶	理事長	稲野 和利
	一、 挨拶	奨学生選考委員長	藤原 誠
	一、	奨学生修了証書及び記念品授与	
	一、 祝辞	上智大学 副学長	永井 敦子
	一、 祝辞	証券奨学同友会 代表幹事	高田 とし子
	一、 謝辞	奨学生代表 新潟大学大学院博士課程	涌井 杏奈
閉式			(敬称略)

⑤ 奨学生推薦大学連絡会

推薦大学の担当者に対して、当年度の奨学生選考の経緯等についての説明を行い、資質優秀な学生の推薦をお願いし、また、奨学生の支援に関し連携を図るために、奨学生推薦大学連絡会をオンラインで開催しました。

今年度は、9月には「奨学生選考の経緯について」、また、2月には「新年度奨学生募集について」を議題に2回開催しました。財団事務局から各議題の説明を行い、推薦大学の担当者からは当日または開催前後にも質問等を受け付けることとし、情報交換の場を設けました。

⑥ 奨学生指導関係

民間の財団なるが故に可能とされる「心の通った奨学制度」を目指したいとの

思いから、奨学生が所属大学あるいは学部の垣根を越えて互いに交流し合える場として、例年「奨学生懇談会」を開催しているところですが、新型コロナ・ウイルス感染症の影響により本年度も開催を見送ることとなりました。

(2) 研究調査助成事業

① 研究調査助成金の給付

社会科学の各分野の研究を対象に、大学又は研究機関等において学術の研究調査に従事している個人又はグループに対し、4月1日から6月30日まで募集を行い、申請件数17件、申請総額16,810千円の応募がありました。

9月2日の研究調査助成選定委員会の審査を受け、9月12日の理事会で助成件数8件、助成金総額8,390千円を機関決定し、給付しました。

研究調査助成金の申請状況及び受給者は、表6及び表7のとおりです。

(表6) 研究調査助成金の申請状況

イ. 個人・グループ別

(単位：件)

年度	個人	グループ	計
2018	15	9	24
2019	20	11	31
2020	10	4	14
2021	10	10	20
2022	10	7	17

ロ. 研究期間

(単位：件)

年度	1年以内	1年超 1.5年以内	1.5年超 2年以内	2年超	計
2018	17	3	3	1	24
2019	21	4	4	2	31
2020	11	1	2	0	14
2021	16	2	0	2	20
2022	12	1	3	1	17

(表7) 2022年度研究調査助成金受給者の一覧

研究代表者		研究調査課題	研究形態	金額(万円)
一橋大学大学院 経営管理研究科 特任教授	イナバ ケイイチロウ 稲葉 圭一郎	上場企業の現預金保有に対する株式市場評価：グローバルインデックス投資家の視点	個人	100
兵庫県立大学大学院 情報科学研究科 教授	イノウエ ヒロヤス 井上 寛康	震災・感染症による経済被害の大規模サプライチェーンシミュレーションによる推計の精密化	個人	100
武蔵大学 学部教授	キタムラ トモキ 北村 智紀	引退後の金融資産取り崩しに関する研究：金融商品と家計の選択行動	グループ	99
順天堂大学 学部教授	タケダ ジュン 竹田 純	妊産婦の生活と就労の両立に関する大規模疫学研究	グループ	100
東京大学 学部講師	ナカザワ エイスケ 中澤 栄輔	感染症パンデミックにおけるマルチレベルな医療資源配分モデルの構築	個人	100
早稲田大学 大学院教授	ヒグチ ナオト 樋口 直人	移民二世世代のオートエスノグラフィ	グループ	140
関西学院大学 学部教授	ホリ ケイイチ 堀 敬一	東京証券取引所の制度変更が株価に与える影響の考察	グループ	100
神戸大学大学院 経済学研究科 准教授	モテギ カイジ 茂木 快治	異なる観測頻度を有する時系列間の閾値効果のモデル化と検定	個人	100
—————		8件	839万円	

② 研究出版助成金の給付

社会科学の各分野の研究を対象に、大学又は研究機関等において学術の研究調査に従事している個人又はグループに対し、4月1日から6月30日まで募集を行い、申請件数25件、申請総額25,230千円の応募がありました。

9月2日の研究調査助成選定委員会の審査を受け、9月12日の理事会で助成件数6件、助成金総額6,130千円を機関決定しました。その後、1件の辞退があったことから最終的に、助成件数5件、助成金総額4,930千円を給付しました。

研究出版助成金の申請状況及び受給者は、表8、表9のとおりです。

(表8) 研究出版助成金の申請状況

イ. 著作形態

(単位：件)

年度	単著	共著	計
2018	9	0	9
2019	11	0	11

2020	16	0	16
2021	21	1	22
2022	23	2	25

ロ. 印刷部数

(単位：部)

年度	100部未満	100部以上 500部未満	500部以上 1,000部未満	1,000部以上	計
2018	0	1	6	2	9
2019	0	2	9	0	11
2020	0	1	9	6	16
2021	0	3	15	4	22
2022	0	2	20	3	25

(表9) 2022年度研究出版助成金受給者の一覧

出版代表者(著者)	研究出版物タイトル	出版形態	金額(万円)
北海道大学大学院 公共政策学連携研究部 教授 ウノ ジロウ 宇野 二郎	公営企業の論理 －大都市事業と地方自治	単著	100
京都大学大学院 法学研究科 日本学術振興会 特別研究員(PD) オオシマ リュウタロウ 大島 隆太郎	日本型学校システムの政治経済学 ：教員不足と教科書依存の制度補完性	単著	100
国立障害者リハビリテー ションセンター研究所 障害福祉研究室 研究部長 セイノ カイ 清野 絵	発達障害の就労とキャリア発達 －ライフステージをつなぐ支援－	共著	93
法政大学 キャリアデザイン学部 日本学術振興会 特別研究員(PD) ソノダ カオル 園田 薫	外国人雇用の産業社会学 ：雇用関係のなかの「同床異夢」	単著	100
金沢大学 人間社会研究域法学系 講師 ヨコヤマ トモヤ 横山 智哉	「政治の話」とデモクラシー：規範 的効果の実証分析	単著	100
		5件	493万円

(注) 本表は辞退者を除いている。

③ 研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式

2022年度研究調査助成金・研究出版助成金贈呈式は、12月9日(金)午後3時より「KABUTO ONE」(中央区日本橋兜町)において開催しました。研究調査助成金受給者7名、研究出版助成金受給者4名、役員、評議員、研究調査助成選定委員、資産運用委員にご出席いただき、総勢27名で開催しました。

引き続き開催した懇親会では、研究調査助成選定委員会の柿崎環先生（明治大学教授）から乾杯のご発声をいただきました。その後、和気藹々とした交流が持たれました。

○ 次 第

開式	一、 挨拶	理 事 長	稲 野 和 利
	一、 挨拶	研究調査助成選定委員会 副委員長	武 川 正 吾
	一、 助成金給付書贈呈		
	一、 研究調査助成金 受給者代表	兵庫県立大学院 情報科学研究科教授	井 上 寛 康
	一、 研究出版助成金 受給者代表	北海道大学大学院 公共政策学連携研究部教授	宇 野 二 朗
閉式			(敬称略)

(3) 証券奨学同友会支援事業

同友会は、本財団の奨学生修了者が奨学生時代に培った相互の信頼関係を維持し、一層深めるため、また会員相互の親睦と協調を図るとともに、本財団の発展に寄与することを目的として 1977 年 3 月 18 日に設立され、2022 年 3 月末日現在約 3,900 名の会員を有している組織です。

当事業は、この同友会が行う活動を支援するものです。

① 同友会定期総会

コロナ・ウイルス感染症の影響により、昨年同様、今年度の総会と懇親会は開催を見送りました。

② 同友会報の編集・発行

例年、会員の活動状況、近況報告等を掲載した「証券奨学同友会報」を発行しており、今年度は、11 月に同友会関東地区幹事の編集により発刊された同友会報第 48 号に係る編集業務及び同友会員はじめ関係者への配付業務を支援しました。

3. 総務事項

(1) 本財団へのご寄附

今年度は、表 10 のとおり、個人 8 名、法人 6 件の合計 14 件、3,120,077 円のご寄附がありました。

(表 10) 2022 年度の寄附者ご芳名

年月日	寄附者	区分	金額(円)	趣旨
2022.4.12	日本証券金融株式会社 部長会 殿	法人	40,077	財団の奨学事業支援のため
2022.5.7	匿名	個人	100,000	財団の奨学事業支援のため
2022.5.9	匿名	個人	200,000	財団の奨学事業支援のため
2022.5.23	匿名	個人	50,000	元奨学生として財団の奨学事業 支援のため
2022.6.14	匿名	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2022.6.27	山崎 貴博 殿	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2022.9.28	匿名	法人	1,000,000	御財団の育英奨学事業に賛同して
2022.12.1	堀家 正機 殿	個人	100,000	学生時代に受けた支援への感謝 と未来の奨学生への支援のため
2022.12.10	匿名	個人	50,000	財団の奨学事業支援のため
2022.12.28	匿名	個人	300,000	財団の奨学事業支援のため
2023.3.1	匿名	法人	1,000,000	御財団の育英奨学事業に賛同して
2023.3.22	ニッセイアセットマネジメン ト株式会社 殿	法人	100,000	財団の奨学事業支援のため
2023.3.28	株式会社あおぞら銀行 殿	法人	30,000	財団の奨学事業支援のため
2023.3.31	アイエックス・ナレッジ 株式会社 殿	法人	50,000	財団の奨学事業支援のため

(2) 理事会、監査会、評議員会、委員会等の開催状況

今年度は、以下の諸会議を開催して所管事項について審議決定しました。

① 理事会

開催日	議 題
2022年5月31日	<p>(審議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 2021年度事業報告及び収支決算について 顧問の選任について 評議員会の招集について <p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 理事の任期満了に伴う理事の選任等について 監事の任期満了に伴う監事の選任等について 資産運用委員会委員長の選任について 理事長及び常務理事の職務執行状況について その他 <p>以上、いずれも原案どおり承認された。</p>
2022年6月27日 (書面)	<p>(審議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 理事長の選定について 常務理事の選定について <p>以上、いずれも原案どおり承認された。</p>
2022年6月27日 (書面)	<p>(審議事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> 2022年度採用奨学生の決定について <p>以上、原案どおり承認された。</p>
2022年9月5日 (書面)	<p>(審議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 2022年度研究調査助成金受給者の決定について 2022年度研究出版助成金受給者の決定について その他 <p>以上、いずれも原案どおり承認された。</p>
2022年12月6日 (書面)	<p>(審議事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2回緊急奨学生支援について(原油高・物価高騰対応) <p>以上、原案どおり承認された。</p>

開催日	議 題
2023年1月10日 (書面)	(審議事項) 1. 2023年度奨学生募集要項について 2. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。
2023年2月27日	(審議事項) 1. 中期資産運用計画(2023年度~2027年度)及び2023年度資産運用計画について 2. 2023年度事業計画及び収支予算について 3. 規程・規則の改正について 4. 資産運用委員会委員の任期満了に伴う選任等について 5. 2023年度研究調査助成募集要項及び2023年度研究出版助成募集要項について 6. 評議員会の招集について (報告事項) 7. 理事長及び常務理事の職務執行状況について 8. 2022年度奨学生修了者の就職・進学状況について 9. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。

② 監査会

開催日	議 題
2022年5月18日	(審議事項) 1. 2021年度の事業及び財務の状況について 2. 2021年度事業報告書及び収支決算書について(監査実施) 3. 監査報告書の承認について 4. 新監事の選任に関する同意書について 以上、監査した結果、2021年度事業報告書及び収支決算書は、適法かつ正確であると承認された。

③ 評議員会

開催日	議 題
2022年6月20日	<p>(審議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2021年度事業報告及び収支決算について 2. 理事の任期満了に伴う理事の選任等について 3. 監事の任期満了に伴う監事の選任等について <p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 顧問の選任について 5. 資産運用委員会委員長の選任について 6. その他 <p>以上、いずれも原案どおり承認された。</p>
2023年3月16日	<p>(審議事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2023年度理事長等の報酬年額について 2. 2023年度の事業計画及び収支予算について 3. 規程・規則等の改正について <p>(報告事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 中期資産運用計画（2023年度～2027年度）及び2023年度資産運用計画について 5. 資産運用委員会委員の任期満了に伴う選任について 6. 2023年度奨学生募集要項について 7. 2023年度研究調査助成募集要項及び2023年度研究出版助成募集要項について 8. 2022年度奨学生修了者の就職・進学状況について 9. その他 <p>以上、いずれも原案どおり承認された。</p>

④ 委員会

1) 奨学生選考委員会

開催日	議 題
2022年4月7日 (書面)	<p>(審議事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 奨学生選考委員会委員長及び副委員長の互選について <p>以上、原案どおり承認された。</p>

開催日	議 題
2022年6月27日	(審議事項) 1. 2022年度奨学生の選考について 2. 意見交換 3. 今後のスケジュール 以上、いずれも原案どおり承認された。
2022年12月1日 (書面)	(審議事項) ・ 2023年度奨学生の募集について 以上、原案どおり承認された。

2) 研究調査助成選定委員会

開催日	議 題
2022年4月14日 (書面)	(審議事項) ・ 研究調査助成選定委員会委員長及び副委員長の互選について 以上、原案どおり承認された。
2022年9月2日	(審議事項) 1. 2022年度研究調査助成金受給者の決定について 2. 2022年度研究出版助成金受給者の決定について 3. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。
2023年2月1日 (書面)	(審議事項) 1. 2023年度研究調査助成の募集について 2. 2023年度研究出版助成の募集について 3. その他 以上、いずれも原案どおり承認された。

3) 資産運用委員会

開催日	議 題
2022年4月21日 (書面)	(審議事項) ・ 資産運用委員会委員長の互選について

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2022年6月20日 (評議員会)	<p>理 事 佐 賀 卓 雄 (日本証券経済研究所 名誉研究員)</p> <p>理 事 武 樋 政 司 (いちよし証券株式会社 取締役会長)</p> <p>理 事 藤 田 誠 一 (神戸大学 名誉教授)</p> <p>理 事 藤 原 誠 (東京国立博物館 館長)</p> <p>理 事 森 田 敏 夫 (日本証券業協会 会長)</p> <p>(新 任)</p> <p>理 事 新 芝 宏 之 (岡三証券グループ 代表取締役社長)</p> <p>(退 任)</p> <p>理 事 佐々木 正 峰 (国立科学博物館 顧問)</p>
2022年6月20日 (評議員会)	<p>(再 任)</p> <p>監 事 石 井 登 (立花証券株式会社 取締役社長)</p> <p>(新 任)</p> <p>監 事 梅 原 知 彦 (共和証券株式会社 取締役社長)</p>

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2022年6月20日 (評議員会)	<p>監 事 菅 原 和 信 (菅原和信公認会計士事務所 公認会計士)</p> <p>(退 任)</p> <p>監 事 甲 良 好 夫 (公認会計士甲良好夫事務所 公認会計士)</p> <p>監 事 山 口 隆 弘 (山和証券株式会社 取締役社長)</p>

② 奨学生選考委員会

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2022年2月21日 (理事会)	<p>(新任：4月1日)</p> <p>委員長 藤 原 誠 (東京国立博物館 館長)</p> <p>(再任：4月1日)</p> <p>副委員長 小 林 康 夫 氏 (東京大学 名誉教授)</p> <p>委 員 伊 達 悦 朗 氏 (大阪大学 名誉教授)</p> <p>委 員 廣 瀬 克 哉 氏 (法政大学 総長)</p> <p>委 員 廣 田 元 孝 氏 (広田証券株式会社 取締役会長)</p>

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2022年2月21日 (理事会)	<p>委 員 藤 田 誠 一 氏 (神戸大学 名誉教授)</p> <p>委 員 宮 島 司 氏 (慶應義塾大学 名誉教授)</p> <p>委 員 向 山 敦 夫 氏 (大阪公立大学大学院 教授)</p> <p>(新任：6月20日)</p> <p>委 員 山 口 隆 弘 (山和証券株式会社 取締役社長)</p> <p>(退任：3月31日)</p> <p>委員長 佐々木 正 峰 氏 (国立科学博物館 顧問)</p> <p>委 員 藍 澤 基 彌 氏 (藍澤証券株式会社 相談役)</p>

③ 研究調査助成選定委員会

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2022年2月21日 (理事会)	<p>(新任：4月1日)</p> <p>委員長 北 川 哲 雄 氏 (東京都立大学 特任教授)</p> <p>副委員長 武 川 正 吾 氏 (明治学院大学 教授)</p>

異動年月日 (承認会議体)	就任・退任
2022年2月21日 (理事会)	<p>(再任：4月1日)</p> <p>委員 柿崎 環 氏 (明治大学 教授)</p> <p>委員 忽那 憲治 氏 (神戸大学大学院 教授)</p> <p>委員 松田 千恵子 氏 (東京都立大学大学院 教授)</p> <p>委員 山下 友信 氏 (同志社大学大学院 教授)</p> <p>(新任：4月1日)</p> <p>委員 中野 勉 氏 (青山学院大学大学院 教授)</p> <p>委員 鍋島 直樹 氏 (名古屋大学大学院 教授)</p> <p>委員 野村 容康 氏 (獨協大学 教授)</p> <p>(退任：3月31日)</p> <p>委員長 佐賀 卓雄 氏 (日本証券経済研究所 名誉研究員)</p> <p>副委員長 須藤 時仁 氏 (獨協大学 教授)</p> <p>委員 渡部 亮 氏 (法政大学 名誉教授)</p>

④ 資産運用委員会

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2022年3月25日 (理事会)	(新任：4月1日) 委 員 平 岡 徹 也 氏 (野村證券株式会社 執行役員) (辞任) 委 員 坂 田 秀 樹 氏 (野村證券株式会社 執行役員)

⑤ 顧問・参与

異動年月日 (承認会議体)	就 任 ・ 退 任
2022年2月21日 (理事会)	(新任：4月1日) 顧 問 佐々木 正 峰 氏 (国立科学博物館 顧問)
2022年3月25日 (理事会)	(新任：4月1日) 参 与 藍 澤 基 彌 氏 (株式会社藍澤証券 相談役) 参 与 須 藤 時 仁 氏 (獨協大学 教授) 参 与 渡 部 亮 氏 (法政大学 名誉教授)

(4) 資産運用への取組み

○ 資産運用の基本方針

定款及び資産運用管理規程に則り、資産価値の維持を図ることを旨とし、事業目的の遂行に資するため、最善と考えられる方法により、安定性、継続性及び収益性に配慮した資産運用を行います。

(i) 資産運用状況

安定性、継続性及び収益性に配慮し、保有する金融商品の売却は行わず、今年度の償還金 5 億円（基本財産 5 億円）と前年度からの繰越資金により 7 億円の買付けを行いました。

買付の内訳は、基本財産として、国内債券に分類する ETF 3 億円、外国債券に分類する ETF 4 億円でした。また、事業安定積立資産としての買い付けは行いませんでした。

(ii) 次年度の資産運用計画

2023 年度は、2022 年度に作成した中期資産運用計画に基づき、安定性、継続性及び収益性に配慮しつつ、次年度の償還金 0.5 億円その他により国内債券、国内株式、国内 REIT 及び外国債券に分類する金融商品の買付けを行います。

II 財務諸表等

1. 財務状況の概要

(1) 資産の状況

「貸借対照表」(2023年3月31日現在)において、資産総額は、7,875,385千円となり、また負債総額は、7,062千円となりました。資産総額から負債総額を差し引いた正味財産総額は、7,868,322千円となりました。

(2) 正味財産の増減状況

- ① 一般正味財産期末残高は一般正味財産期首残高に一般正味財産増減額193,202千円を減算した結果、5,789,432千円となりました。
- ② 指定正味財産期末残高は、指定正味財産期首残高に当期指定正味財産増減額88,739千円を減算した結果2,078,889千円となりました。
- ③ 以上により、期末(2023年3月31日現在)の正味財産期末残高は、7,868,322千円となりました。

Ⅲ 資料編

○ 役員・評議員・委員等名簿

令和5年（2023年）3月31日現在（50音順・敬称略）

役員

理事長	稲野和利	
常務理事	松永秀昭	
理事	神作裕之	東京大学大学院教授
	北川哲雄	東京都立大学特任教授
	佐賀卓雄	日本証券経済研究所名誉研究員
	新芝宏之	岡三証券グループ代表取締役社長
	武樋政司	いちよし証券株式会社取締役会長
	藤田誠一	神戸大学名誉教授
	藤原誠	東京国立博物館館長
	森田敏夫	日本証券業協会会長
監事	石井登	立花証券株式会社取締役社長
	梅原知彦	共和証券株式会社取締役社長
	菅原和信	菅原和信公認会計士事務所公認会計士

評議員

評議員会議長	内藤誠二郎	内藤証券株式会社取締役会長
評議員	宇野勝博	大阪大学教授
	岡地敏則	岡地証券株式会社取締役会長
	古賀信行	野村ホールディングス株式会社特別顧問
	清水啓典	一橋大学名誉教授
	庄司興吉	東京大学名誉教授
	中島隆博	東京大学教授
	前田昌孝	マーケットエッセンシャル主筆
	森本学	日本証券業協会副会長

委 員

奨学生選考委員会

委員長	藤原 誠	東京国立博物館館長
副委員長	小林 康夫	東京大学名誉教授
委員	伊達 悦朗	大阪大学名誉教授
	廣瀬 克哉	法政大学総長
	廣田 元孝	広田証券株式会社取締役会長
	藤田 誠一	神戸大学名誉教授
	宮島 司	慶應義塾大学名誉教授
	向山 敦夫	大阪公立大学大学院教授
	山口 隆弘	山和証券株式会社取締役社長

研究調査助成選定委員会

委員長	北川 哲雄	東京都立大学特任教授
副委員長	武川 正吾	明治学院大学教授
委員	柿崎 環	明治大学教授
	忽那 憲治	神戸大学大学院教授
	中野 勉	青山学院大学大学院教授
	鍋島 直樹	名古屋大学大学院教授
	野村 容康	獨協大学教授
	松田 千恵子	東京都立大学大学院教授
	山下 友信	同志社大学大学院教授

資産運用委員会

委員長	上山 毅弘	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社執行役
委員	加藤 康之	京都先端科学大学教授
	木元 大祐	みずほ証券株式会社金融市場本部本部長
	新堂 尚紀	SMBC日興証券株式会社理事
	中澤 嘉謙	大和証券株式会社執行役員
	平岡 徹也	野村証券株式会社執行役員

顧

問

佐々木 正 峰

国立科学博物館顧問

参

与

田 中 素 香

東北大学名誉教授

入 木 雅 和

前常務理事

藍 澤 基 彌

藍澤證券株式会社相談役

須 藤 時 仁

獨協大学教授

渡 部 亮

法政大学名誉教授